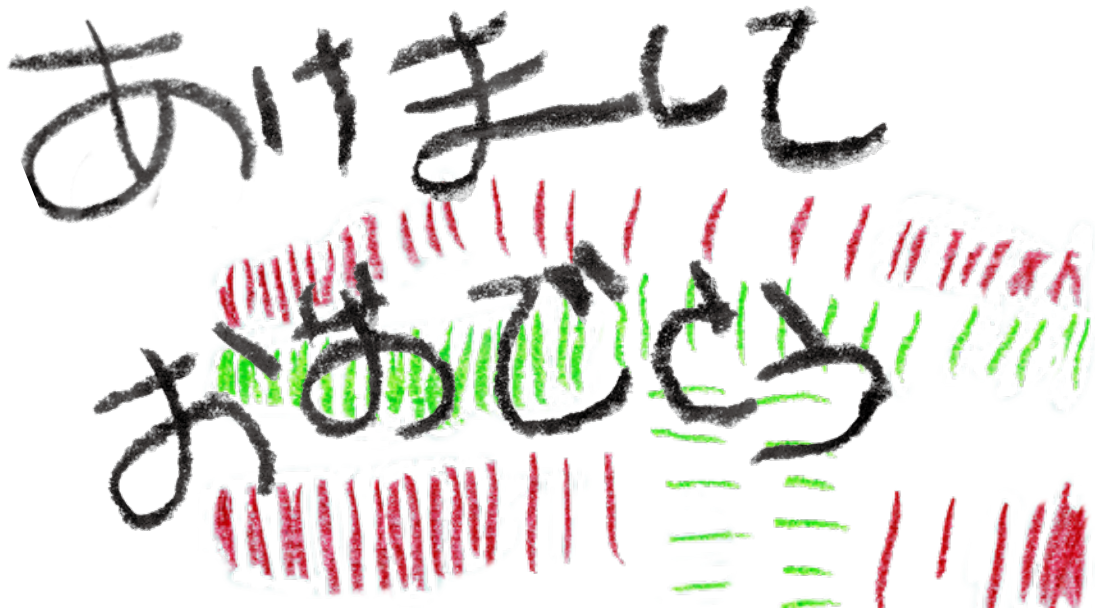


友 和

NO.585

発行日 令和 8 年 1 月 1 日
発行 社会福祉法人 友和の里
〒 738-0203
広島県廿日市市友田 218-38
TEL0829-74-2157 FAX0829-74-2154
HP : <http://yuuanosato.com/>

発行者 常務理事 中村 真和



字：塩田 兆優

絵：和泉 広司

新しい年を迎えるにあたり、日頃より社会福祉法人友和の里の活動にご理解とご支援を賜っておりますことに、心より御礼申し上げます。

友和の里は、今年9月で45周年を迎えます。これまでの歩みを振り返りますと、歴代の役員や職員、利用者の皆さま、ご家族、そして地域の方々の支えのもと、一歩一歩積み重ねてきた時間の重みを強く感じます。決して平坦な道のみではありませんでしたが、多くの方々の思いがつながり、今日の友和の里があります。

昨年は、法人として言葉にし尽くせない経験があり、支援の在り方や人とのつながりの大切さを改めて考える一年となりました。その中にもあっても、利用者の暮らしを守り続けることができたのは、皆さまの変わらぬ支えがあったからこそと、深く感謝しております。

本年も、運営体制の充実、サービスの質の向上、職員が安心して働ける環境づくりに努めながら、基本理念である「ともにまなび ともに成長し ともにしあわせになる」の実践を重ねてまいります。

引き続きのご支援とご協力を、よろしくお願い申し上げます。

理事長 河野 義刀

特集

年末年始の過ごし方

クリスマスとお正月

利用者のみなさんにイラストを見てもらいながら、「しっとる？」とクエスチョンを投げかけてみました。指さしで反応する人が多い中、頷きや発言があった人の声を紹介します。職員、保護者の方にも教えてもらいました。

サンタクロースの絵をみて

会ったことない（和泉さん）
あった（小西さん）
サンタさん来るんよ（大黒さん）
見たことある（堀江さん）
サンタ（星川さん）
保育園の時に会った（所さん）
サンタさん（塩田さん）
※複数回答とうなづきで確認できた回答
クリスマス
ゆうわのクリスマス会
会ったことある
来たことがある

ケーキの絵をみて

ケーキとジュース（荻野さん）
かわいい（平さん）
食べたことある（松浦さん）
マックスバリューとゆめタウンにあるね（大黒さん）
※複数回答とうなづきで確認できた回答
ケーキ食べたいね
ケーキたのしみ
コペイカへ買いに行く
お母さんつくる
クリスマスあるね



クリスマスというコトバ

もうすぐクリスマスやね（堀江さん）
ワッキー食べたい（東間さん）
今度みんなでクリスマスするよ（所さん）

プレゼントの絵をみて

プレゼント（荻野さん）
※複数回答とうなづきで確認できた回答
プレゼントもらう
もらったことある

お正月

正月は初もうでに行く（宇吹さん）
ビックワに買物に行く（大黒さん）
一日は広島空港へいき二日は岩国錦帯橋空港へ行く（沖田さん）
※うなづきで確認できた回答と回答者不明回答
岩国の出雲大社いくよ、毎年いくの
おうちに帰ってお餅をたべる
おじいちゃんくる
おうちかえる

お餅の絵をみて

もち
かわいいなおもち
食べたことある



イラストを熱心にみて指さしてくれました。

中には絵を見るなりニコリ♡



12月になると...職員に聞きました!

毎年この時期になるとカレンダーがいつ来るのかと毎日職員に聞いてくる利用者さんがいる（職員）
十二月になるとツリーの切り絵を作ってかざるのが恒例になっている人がいる（職員）
一年中「メリークリスマス」とつぶやく利用者さんがいる（職員）



絵：石田 亮

息子は正月は一人で神社参りです。一日は大野の妹背の大頭神社へ参拝します。平成七年の秋に転居して八年の元旦から一年もかかさず行っています。家族や友人のおみくじをもらって帰ってくれます。三日は宮島です。一人で宮島へ行っています。もみじまんじゅうを買って帰って友人宅へ持って行くのが恒例です。40年以上これも変わらぬ行事です。おかげさまで、いろいろありましたが、ご利益をいただいていると思っています。（宇吹さん母）

クリスマスグッズを飾りたい母！いつもと同じがいい息子！...。少しずつ飾って反応を見ながら増していきます。気に入らないと外され投げられ壊されるので最近布やフェルトで作ったツリーやリースを飾っています。

（村松さん母）

冬ならではの！

職員の一言がきっかけで、食べてあったまった出来事

ある日、私の机の上に、やたらと存在感のある大きな柿が1個ドンッと置いてありました。「え、なにこれ…差し入れ…？それとも無言の圧…？」と首をかしげていると、職員さんがニコニコしながら教えてくれました。郡司さんがホップ活動で遊歩道を散歩していたとき、柿の木を見つけ、そこへ石社さんが「採ってみいや〜」と背中を押してくれたとのこと。郡司さんは嬉しそうに柿を一つゲットし、その後栄養士の朝川さんにカットしてもらい、ホップグループのみんなで美味しくいただいたそうです。「美味しい〜」とニコリ。あの笑顔は柿より甘かったかもしれません。



さて、話はここで終わりません。石社さんがさらに「浜先さんに柚子を採りんさいって言われとったよ〜」と別の職員から私に伝言がありました。「じゃあ10個くらいでいいかね〜」と軽い気持ちでいたら、まさかの追加指示。「はしごを用意したけえ！霜が降りたら柚子がダメになるけえ、全部採ってしまいんさい！」……全部！？こうして利用者さんと職員で、かごいっぱい柚子を収穫することになりました。



「これ、どうする？」と職員で相談していると、「柚子風呂にしましょうよ！！」とナイスアイデアが飛び出し、採れたて贅沢・天然100%の柚子風呂が完成。お風呂場では、柚子を手にとってニコリする方、「いいにおい〜」と深呼吸する方、そして…こっそりモグモグしている強者まで。みんな思い思いに冬の恵みを楽しんでいました。職員も、柿を食べる姿、柚子を採る姿、柚子風呂を満喫する姿を見ながら、自然と笑顔に。石社さんのひと言が、こんなに冬を楽しくしてくれるとは思いませんでした。

※ところで皆さん、柚子にトゲがあるのをご存じですか？あれ、油断すると本気で刺さります。「痛っ！」と叫んだ職員が何人いたかは…ご想像にお任せします。 （部長 浜先 ひろこ）



ユズとったよー



入所部の湯舟



ユズが
いっぱい

な力です。計画や予算は、その日常を支えるためにあるのだと、あらためて思います。

植物が春を迎える前に土の中で力を蓄えるように、今は次の一年を無理なく進めるための準備の時期です。目立つ変化はなくても、整えるべきものを整え、確認すべきことを確認する。その積み重ねが、やがて安定した歩みにつながってきます。次の一年も、現場の声を大切にしながら、一つひとつ準備を重ね、安心して前に進める土台を整えていきたいと思っています。

(常務理事 中村 真和)



令和7年度 第2回施設内研修 (権利擁護・虐待防止研修)について

令和7年12月13日(土)、「その行動、“なれ”ていませんか？」をサブテーマに、日々の支援における自身の関わりを見直す機会として介護技術研修を実施しました。今回は、利用者支援の質向上と虐待防止に向けて職員の意識向上と実践力の強化を図るため、社会福祉法人 芸南福社会 広島市湯来・砂谷地域包括支援センター センター長 三谷健一様を講師としてお迎えしました。

研修に先立ち、研修委員6名が事前に2回の講習を受け、当日のアシスタントとして参加職員をサポートできるよう準備を進めてきました。当日は50名の職員が参加し、床からの立ち上がり、車いすからの移乗、ベッドサイドを想定した移乗など、実践的な介護技術を学びました。3時間の研修はあっという間で、会場は終始活気にあふれていました。

職員からは多くの質問が寄せられ、移乗動作を繰り返し練習する姿が見られるなど、非常に熱心に取り組む様子が印象的でした。三谷様からも「職員の皆さんがとても熱心で素晴らしいですね」とのお言葉をいただきました。また、「基本ができ、日々の積み重ねを大切にすること。職員が統一した支援を行うことで、わずかではあっても利用者の方に良い変化が生まれる」とのご指導もあり、改めて支援の基本姿勢を見つめ直す機会となりました。今回の研修で学んだ技術と姿勢を、今後の支援にしっかりと活かしていきたいと思っています。

(部長 浜先ひろこ)



絵：石田 亮

次の一年を整える時間として

年の始まりは、外から見ると静かな時期に映ります。行事や大きな動きは少ない一方で、法人の中では次の一年に向けた準備が本格的に進む時期でもあります。予算を編成し、事業計画を検討し、限られた資源をどこにどう配分するのかを丁寧に考えていく。常務理事として、この時期は特に足元を見つめ直す時間だと感じています。数字を並べ、計画を立てる作業は、一見すると事務的に見えるかもしれませんが、しかし、その一つひとつの判断の先には、利用者の暮らしがあり、職員の日々の働きがあります。どの事業をどう進めるのか、どこに力を注ぐのかは、現場の声や積み重ねを抜きにしては決められません。支援の現場と運営の間を行き来しながら、計画を「現実の言葉」にしていくことの難しさと大切さをあらためて実感します。

現場では、年が改まってても利用者の生活は変わらず続いています。職員同士の声かけ、ご家族との連絡、地域の方とのやり取り。そうした日常が滞りなく回っていること自体が、法人にとっての大き

おけましてめでとう

字：黒河啓介



つうしょぶ にっちゅうかつどう
通所部 | 日中活動班より



とうげいはん
陶芸班

昨年も多くの方に陶芸班で作成した干支の置物を購入していただきました。今年の干支は「午（うま）」です。馬は古来より力強さとスピードの象徴であり、前進や開運を意味する動物でもあります。午年を機に新しい事に挑戦してみても良いかもしれないですね！今年も皆様にとって良い年になるよう陶芸班一同願っております。

（生活支援員 朝川 泰貴）

そうさくはん
創作班

今回は、寺尾昌敏さんとウエスの納品に行きました。「頑張って畳んだウエスがどのように納品されているか見てみますか？」と尋ねると、すぐに「うん」と返答されました。納品先では、ウエスが納品される様子をジッと眺め、最後に『納品請求書』を納品先の職員さんに渡してくれました。昌敏さんに「また納品に行ってみますか？」と確認すると「うん。いく！」としっかり返事をしてくれました。道中の感想も聞くと「良かった」とドライブ気分も味わえた様子です。皆さん、今年も一年間健康で頑張りましたよね(^^) /（主任生活支援員 山田 憲志）

かいとお はん
貝通し班

寒さも厳しくなってきました。皆さんそれぞれご自身のペースで貝通し作業に取り組んでおられます。日々貝通し棟で作業をこなされる皆さんにとって、貝通し棟がもうひとつの居場所になっていけば良いと思います。

（生活支援員 冠 茜）

りょういくはん
療育班

今回は堀直人さんの作業での様子をお伝えします。療育班ではゴム入れ作業の完成数を利用者さん毎に決めて、利用者さんがゴールをわかるようにしています。堀さんも決められた数をテキパキとこなしており、それはもう職人のような手際です！

（生活支援員 永見 貴一）

トピックス

入所部レクリエーション

【クリスマス会の前と当日 あれこれ】

12月と言えばクリスマス！入所部では堀江さんが上手にハサミを使って折り紙をツリーの形に切ってくださいました。職員室入口のドアに7本のクリスマスツリーが貼ってあります。堀江さんは、毎日のように、「1, 2, 3, 4, 5, 6, 7あるね」と数を確認に訪れます。クリスマスには欠かせないのがツリーです。各グループでイルミネーションや飾り付けをします。どんなツリーが出来上がるか楽しみです。きっとにぎやかな一日になると思います。みなさん、楽しんでくださいね。（生活支援員 田代 師世江）

クリスマス会当日は利用者の皆さんと一緒に屋外でイルミネーションの飾り付けを行いました。飾りはすべて、利用者の皆さんが手作りされたものです。午後からはお楽しみの時間、シャトレゼのケーキを食べました。3種類の中から好きなケーキを1つ選び、皆さん嬉しそうに召し上がっていました。日が沈むとイルミネーションがキラキラと輝き、とても素敵な雰囲気に包まれました。記念に写真を撮り、皆さんとても喜ばれていました。

（生活支援員 高橋正雄）



【春花壇づくり】



利用者の皆さんと花壇にパンジーを植えました。和泉さんと佐藤さんは花を見ながら笑顔で植え付けを手伝って下さいました。植えた後は市場さんが水やりを手伝って下さいました。遊歩道を歩く際には見て頂けたら幸いです。（生活支援員 高橋 正雄）

鞆の津ミュージアムへ行ってきました！

【どや〇〇じゃろ！】

12/9(火)に「第8回どや、〇〇じゃろ！展」の見学に行ってきました。4点自分の作品を出展している佐藤和子さんも一緒です。福山までの道のりは、少し遠かったのですが、快晴のドライブ日和でした。他の事業



所からも見学に来られていて、佐藤さんに「作るのにどのく

らい時間がかかりますか？」「色がきれいですね」と話かけてもらい、ちょっとした交流ができました。帰って来てから佐藤さんに感想を伺うと「ちょっと疲れたけど、よかった」とおっしゃっていました。素敵な作品がたくさんあったので、佐藤さんにも良い刺激になったのでは…？と思います。

（主任 須藤 洋子）

通所部 土曜開所日

【クリスマス会】

12月の開所日はクリスマス会を開催しました。ホールでクリスマスツリーの飾り付けを行い、サンタクロースやトナカイのかぶり物を身に着けて記念撮影をして楽しみま



した。最後は皆さんでクリスマスソングを歌うと、自然と笑顔が広がり、和やかな雰囲気に包まれていました。昼食は給食とともにクリスマスケーキを食べて心に残るひとときとなりました。

（部長 乙原 亮）



作画：沖貴代美
「チューリップ」

リフレッシュカフェに行って

【認知症カフェのクリスマス会】

12月のリフレッシュカフェはケーキ作りでした。入所部から沖さんと中田さんが、参加してきました。私がおのぎにいくと、行儀よく座って何かを待っている様でした。声をかけると、笑顔になったりおしゃべりもするのですが、二人ともいつもより大人しいのです。初めての場所で、はじめましての人たちと一緒に過ごすのに緊張されたようでした。ケーキ作りが始まると、意欲満々でクリームをもりもりにのせてみたり、ポッキーやイチゴなどを可愛く飾っ



ておられました。写真はリフレッシュクラブの高杉さんと沖さんが一緒にクリームを絞っているところです。

沖さんうれしそうー！

(地域交流支援員 ヒューガノリコ)

利用者さんと一緒に

【感染症対策研修】

12/4(木)第二回感染症対策研修を実施しました。今回はGH入居者の方々に協力頂き、より実践に近いシチュエーションで実技、演習を行うことでリアリティーのある研修を実施することができました。ベッド臥床中に嘔吐した際に誤嚥、窒息、チアノーゼ等見られないか状態確認を行う。居室換気時に居室窓を開け、居室扉を閉めてウイルスの拡散を遮断する。簡素化したマニュアルを職員室などに掲示するなど、具体的な意見が多くあがりました。来年度も研修を実施し、手順や実施方法のアップデートを図りたいと思います。(生活支援員 岡田 泰祐)



講師くうさんによるアート活動2回目”

【みんなで身体運動カラダの声をきく】

講師くうさんをお招きして2回目のアート活動が催されました。今回はサイコロを振って鳥の真似をしたり魚のように泳いだりと少しずつ身体を動かしていきました。利用者さんは大きなスカーフのヒラヒラとした動きに興味を持たれていました。くうさんによると、スカーフは見る景色の色が変わり肌に触れる質感も柔らかい為に視覚や触覚等いろいろな要素で楽しめるそうです。皆さん始めは緊張が見られたものの段々と打ち解けとても良い表情で手足を動かそうとしているのが感じられました。普段は活動にあまり参加ができない利用者さんも身体を動かしておられ、少しは心を開いてくれたのかなと感じました。利用者さん本位で表現ができるようにこの活動が続けていけたらと思います。(生活支援員 玉田 淳也)

今回は入所と通所の合同で利用者10名職員7名で楽しみました。



春に向けて

【チューリップの球根うえつけ】

短い秋がおわり霜が降り始めた頃、初夏に掘り上げておいた球根と、新しく用意したチューリップの球根100球を花壇に植えました。花壇にはたくさんの落ち葉にコーヒー粕を入れて作ったたい肥をたっぷりすきこんでいます。職員があちこち穴をあらかじめ開けておいて、球根を入れてもらいました。声掛けは「布団かけてねー」です。寒さを感じると目を覚ますチューリップ。きれいな花を咲かすための、準備はばっちり！春が楽しみです。



1

友和の里行事予定

- 1/1 水 ししまい来所 (GHFH)
- 1/5 月 かきぞめ (通所)
- 1/9 金 夕食会 (GHFH)
- 1/9 金 新年会 (通所 / 入所)
- 1/9 金 工賃支払日 (通所 / 入所)
- 1/10 土 体重測定 (GHFH)
- 1/13 火 お楽しみ会 (入所)
- 1/14 水 体重測定 (入所)
- 1/16 金 体重測定 (通所)
- 1/16 金 どんど
- 1/17 土 土曜日開所日 (通所・入所)
- 1/23 金 アート活動 (入所)
- 1/25 日 訪問美容 (GHFH)
- 1/27 火 夕食会 (入所)
- 1/30 金 そうじの日 (入所)



水曜日移動スケジュール

				1	2	3
				ししまい	おしょうがつ	
4	5	6	7	8	9	10
	かきぞめ				しんねんかい ごうちん ゆうしょくかい きょうじ しよく	たいじゅう そくてい
11	12	13	14	15	16	17
		おたのしみ かい	たいじゅう そくてい		とんど	かいしょび
					たいじゅう そくてい	かいしょび
18	19	20	21	22	23	24
					アート	
25	26	27	28	29	30	31
ほうもん びよう		ゆうしょく かい			そうじのひ	

にゅうしょ (入所)
つうしょ (通所)
GHFH グループホーム
アーチェリー

絵：佐藤 和子

筆ペンとクレヨンで10分くらいで描いた絵。海があって、風あげのように見えますが、手前にツクシが生えているそうです。

ご寄付のご紹介

株式会社 竹内さま
許敏恵さま
株式会社松本商会さま
友和の里入所部保護者会さま
株式会社地域総合設計さま

たくさんのご寄付を賜り厚くお礼申し上げます